



# 若年性認知症とは？

65歳未満で発症した認知症のことです。

- ★ 判断力が低下したり、手順を踏んだ作業をすることが難しくなったり、今いる場所や時間がわからなくなることがあります。
- ★ 日常生活や仕事など、普通の生活が困難になります。



## 若年性認知症で心配されること

01 仕事ができなくなる  
経済的な問題



02 介護に伴う配偶者や  
家族の就業問題  
(就業の継続が困難)



03 介護疲れによる  
配偶者や家族の疲弊  
(又は心身の病気)



04

若年性認知症に対する  
周囲の理解不足

## 早期受診、早期発見が大事！

若年性認知症かな？

若年性認知症かな？と  
思ったら早めに受診しましょう。



## 4つの 早期受診・早期発見のメリット



早期治療により治る  
若年性認知症もあります。



早期から適切なケアを受ける  
ことができるようになります。



自分の疾病を理解し、  
早くから今後に向けた備えを進めることができます。

職場の理解を得ることで  
配置転換などにより  
少しでも長く雇用を継続

新たな社会生活・生きがいや  
居場所に向けた準備等

利用できるサービスがあります。利用可能な制度を活用しましょう。  
(障害年金・自立支援医療・精神障害者保険福祉手帳・  
介護保険制度(40歳以上)・成年後見制度等)



在職中(厚生年金加入中)に受診することで、  
障害厚生年金を受給できる可能性が高くなります。  
(障害基礎年金の受給要件を満たす場合)

## どうすればいいの？

まず、相談しましょう！



絶対に一人で抱え込まないようにしましょう。

特に仕事についている方は退職する前に相談しましょう。  
(若年性認知症サポートセンター・包括など)



医療機関を受診しましょう！

若いため、疲れや更年期障害、うつ状態など思い込み、受診に  
時間がかかることが多いですが、認知症かどうかをみてもらい  
ましょう。認知症も他の病気と同様に、早期発見・早期診断・  
早期治療がとても重要です。

## どこに行けばいいの？

かかりつけ医がいる人は、かかりつけ医で受診し相談しましょう。

かかりつけ医がいない人は、専門医を受診しましょう。  
(受診先がわからない方はセンターにご相談ください)

就労中の方で、会社に産業医がいる場合は、  
産業医に相談しましょう。

